令和六年度　社会人入学試験（B日程）小論文

徳山看護専門学校

受験番号

氏　　名

得　　点

三歳で小児がんを発症し、「レモネードスタンド」に希望を託して命を終えた少女のお母さんのことが、新聞の第一面に特集されていました。

「小児がん救う　娘の遺志」と大見出しがあり、亡くなった我が子の名前を付けたお店を開いているお母さんのお話です。

その少女、Tさんといいますが、Tさんは次第に体調が悪化していく中、お母さんの反対を押し切って「レモネードスタンド」に立ち、それから八日後に亡くなります。七歳と十カ月でした。

「レモネードスタンド」とは、やはり小児がんで八歳で亡くなったアメリカの少女が、同じ病気で苦しむ子供たちを救いたいと始めた活動です。自分が作ったレモネードを自宅で売り、その売り上げを小児がんの研究費に使ってもらおうというもので、やがて世界に広がっていきました。

この「スタンド」とは一時的なお店のことで、いろいろな形がありますが、新聞には、駅前で、ちょうど募金活動のようにTさんが立ってレモネードを売っている写真が載っています。そばには、見つめるお母さんとお姉さん。

記事は、新聞の第一面、本でいえば表紙ともいえる位置に紙面の半分を割いて掲載され、他のページには関連記事もありました。それに、日曜日ということもあり、読者に向けた強い意志が感じられます。

あなたは、この記事をどのように受け止めますか。

原稿用紙の書き方の決まりに従い、段落を適切にとり、分かりやすい文章であることを心掛け、六〇〇字以内でまとめてください。

※毎日新聞（二〇二三．一〇．二二）に拠る。

（二五字×二四行）